

# German chamomile tea

ジャーマン カモミール ティ

## 自ら実践することで真実を知り、本物をお届けしたい。



2015年8月。コーヒー屋さんである私たちは岐阜県大垣市の東に位置する上石津町牧田地区でカモミールの栽培をスタートさせました。私たちの圃場は、20年以上の耕作放棄地で草や木が生い茂りまさに「山」そのものでした。最初の1年は、草刈りや土づくりで終了しました。

← 草刈り

2年目からようやく耕作をスタート。まずは苗を育てることから始めました。圃場の土に井戸水を染み込ませ、無農薬・無化学肥料で栽培されたカモミールの種を振りかけていきます。その上に土をかぶせて軽く押さえつけてあげます。これで種まきは終了です。2週間ほどで芽が出てきたら圃場へ植え替えを行います。

苗づくり →



植え替えの準備開始。トラクターで土を耕し、高さ40cm、幅50cmの畝を立てます。畝を立てるのは、水はけを良くすることや土の温度を高くすること、収穫を行いやすくするためです。初めて畝を作りましたが、地元農家の皆様に「畝職人！」と言われるほど上手にできました。

← 畝立て

元気に育った苗を圃場に植え替えます。雨の降った次の日は土も柔らかく、水分を含んでいるので苗植えには最適です。一人が斜に30cm間隔で棒で穴を開けていき、もう一人がその後を辿り苗を置いていきます。そして、もう一人が土をかぶせていきます。3人での作業でしたが3週間ほどかかりました。後は、大自然の恵みにお任せです。

苗植え →



カモミールは、晩秋に苗植えを行い、雪が積もる冬の間根を伸ばし、雪解けの春になると日の光を浴びて空に向けて大きく成長していきます。5月に入ると優しい白い花を咲かせ、美しい黄色い花托が顔をだし、畑一面に黄金のじゅうたんが広がります。これが収穫の合図になります。

← ジャーマンカモミール

いよいよ収穫の開始です。2町歩（6000坪）の農地に広がるカモミールを地元農家と学生の皆様、地方から応援に駆け付けて下さった総勢35名の皆様にお手伝いをいただき1週間で収穫を終えることが出来ました。お集まりいただきました皆様に心より感謝申し上げます。

収穫 →



### ジャーマンカモミール生産量日本一の岐阜県大垣産



地域の皆様と私たちが育てたジャーマンカモミールを是非ともご賞味ください。

生産者：株式会社クリスタル

圃場地：岐阜県大垣市上石津町牧田平井

栽培方法：無農薬・無化学肥料栽培

責任者：木下正義

栽培品目：ジャーマンカモミール

商品：カモミールティ

